

各 位

会社名 トラスコ中山株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
 (コード 9830 東証一部)
 問合せ先 取締役 経営管理本部 本部長 兼
 デジタル戦略本部 本部長
 数見 篤
 (TEL. 03-3433-9840)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、令和2年8月3日の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表した業績予想及び配当予想の修正を決定しましたのでお知らせします。

記

1. 令和2年12月期通期連結業績予想数値の修正 (令和2年1月1日～令和2年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 225,849 ～198,548	百万円 12,640 ～7,636	百万円 13,000 ～7,996	百万円 8,952 ～5,499	135円75銭 ～83円39銭
今回修正予想 (B)	211,965	11,048	11,412	7,850	119円04銭
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(参考)前年同期間実績 (平成31年1月1日～ 令和元年12月31日)	220,674	13,797	14,197	9,613	145円78銭

※レンジ形式での開示から特定値での開示に変更しているため、前回発表予想からの増減額及び増減率については記載しておりません。

2. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想(令和2年8月3日)	16円50銭	17円50銭 ～4円50銭	34円00銭 ～21円00銭
今回修正予想		13円50銭	30円00銭
当期実績	16円50銭		
前期実績(令和元年12月期)	18円50銭	18円00銭	36円50銭

3. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間（令和2年1月1日～令和2年9月30日）における日本経済は、令和2年1月1日～令和2年6月30日までの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の局面から転じ、令和2年7月1日～令和2年9月30日では停滞していた経済活動が再開に向かったことで景況感是最悪期を脱しました。しかしながら、感染再拡大への不安は残り、以前から続く米中貿易摩擦の影響も重なることで、景況感の水準は低調となっています。

国内のモノづくり現場においては、自動車産業を中心に生産が再開したものの、工場の稼働は依然低迷しており、設備投資も企業収益の悪化を受けて先送りや規模を縮小する動きが続いています。

当社は、令和2年8月3日の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況下であることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び配当予想を下方修正の上、それぞれレンジ形式により開示しました。

現時点においても新型コロナウイルス感染症による影響は見通しにくい状況下にあります。が、企業の生産活動における状況や直近の当社の売上高の推移を鑑みて、令和2年12月期通期連結業績予想（令和2年1月1日～令和2年12月31日）について、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び配当予想を上記の通り修正します。なお、予想数値は令和2年8月3日に公表したレンジ形式での業績予想の範囲内です。

（注）業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上